進路だより No.23

－平成２８年２月１日－

貝塚市立第一中学校　進路通信
〒597-0071 貝塚市加神１丁目５番１号
TEL 072-422-1527　FAX 072-422-1271

生徒と保護者のための進路情報です。保護者の方も必ずご覧ください。

最後の学年末テストを頑張ろう！

明日から、最後の学年末テストがあります。和歌山県の私立高校を受験した人は合格発表が気になりますが、このテストは公立高校一般入学者選抜に重要な影響を与える評定につながります。テストはもちろんですが、提出物も期日内に提出しましょう。

また、学年末テスト、大阪府の私立高校入試、公立高校特別入学者選抜入試と続きます。大事な試験の日に熱を出したり、カゼをひいたりしては大変です。自分の力を十分に発揮できるよう、日頃から健康管理に留意しましょう。そのためには、“規則正しい生活”と“手洗い・うがい”が大切です。

公立高校特別入学者選抜に向け、準備ＯＫ？

公立高校の特別入学者選抜対象の進路懇談会が２月４日にあります。すでに受験校が決定している人も、決定していない人も準備は進めてください。出願書類は、

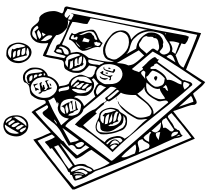
①入学志願書

②自己申告書→→・次のテーマについて書き、どの公立高校へも提出が必要です。
・基本的に生徒本人の自筆に限ります。

> 【テーマ】あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

③検定料納付書→→大阪府立高校、大阪市立高校で、用紙が違います。
岸和田市立産業高校はありません。

公立高等学校の入学検定料の納付方法に注意！



☞　納付書の志願者欄には、在学中学校名・氏名・連絡先の電話番号を黒または青のボールペンで記入します。

☞　納付は、銀行・商工組合中央金庫や府内の信用金庫・農業協同組合・労働金庫等の窓口です。全日制の検定料は２，２００円です。
ＡＴＭ、インターネットバンク、コンビニ、郵便局（ゆうちょ銀行）では納付できません。

☞　出願時に、金融機関の領収印が押された「入学検定料納付証明書」の原本を入学志願書の裏面に貼り付ける。

なお、岸和田市立産業高校（特別選抜はないが、東大阪市立や堺市立も）に出願する場合は、出願時に現金で納付します。「府立高校に出願する予定で払い込んだが、結局出願しなかった」場合などは、後で手続きをすることで還付を受けることができます。

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">選抜の種類</th><th>出願期間</th><th>学力検査等</th><th>合格者発表</th></tr>
<tr><td rowspan="4">特別入学者選抜</td><td rowspan="2">全日制</td><td>・工業に関する学科
（建築デザイン科・インテリアデザイン科・プロダクトデザイン科・映像デザイン科・ビジュアルデザイン科・デザインシステム科）
・美術科　・体育に関する学科
・芸能文化科　・演劇科　・総合造形科</td><td>２月15日（月）
及び
２月16日（火）</td><td>学力検査
２月22日（月）
実技検査
２月23日（火）</td><td rowspan="5">３月１日
（火）</td></tr>
<tr><td>・デュアル総合学科
・総合学科（エンパワメントスクール）</td><td rowspan="3">２月15日（月）
及び
２月16日（火）</td><td rowspan="3">学力検査
２月22日（月）
面接
２月23日（火）</td></tr>
<tr><td colspan="2">多部制単位制Ⅰ部･Ⅱ部（クリエイティブスクール）</td></tr>
<tr><td colspan="2">昼夜間単位制</td></tr>
<tr><td colspan="3">知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜</td><td>２月15日（月）
及び
２月16日（火）</td><td>面接
２月18日（木）～
23日（火）の１日
（土日を除く）</td></tr>
</table>

科目別勉強法　高校受験　数学編

公式の意味を理解し、「土台」を固める

「勉強しているのになかなか点が伸びない」という生徒が多く、苦手となりやすいのが数学。「わかったつもり」が伸び悩みの原因の一つです。

ある公式を覚え、それを使って解いた答えが正解だったとします。それで満足していませんか。数学は、定義や公式などの「ツール」を少しずつ増やすことで解ける問題も増えていきます。しかし、意味そのものを理解していなければ、ツールを上手に使いこなすことはできません。例えば、中３で学ぶ２次関数は中１で学ぶ比例や反比例の考えを応用したもの。比例を「土台」と考え、その単元を学ぶ段階で数量の関係性をグラフで確かめるなど、式の意味を考えることが大事です。

解説を読んで「理解した」はずなのに実際に解いてみるとできない－数学を苦手にする人によくあります。解説を読んだ翌日、何も見ないで自力で解けたときに初めて「できた」と思うようにしてください。

基本的な勉強方法は①問題を解く→②まちがえた問題の解答・解説を読む→③ノートを振り返る→④わからない場合は質問する、という流れです。

入試レベルの問題には難易度が高いものが含まれることもありますが、そのほとんどは基本的な問題の組み合わせです。まずは自力で「糸口」を考えることで思考力を鍛え、いろいろなタイプの問題を解くことで「経験値」を高めます。日頃から、すぐ人に頼らずに勉強する姿勢が合格への近道になります。

必ず途中式を書く

問題を解くとき、必ず途中式などを書く習慣を身につけます。因数分解のような単純なものはもちろん、応用問題を解くときにも書いておけば、効率よく自分の答えを確かめることができ、ミスを防ぐことにもつながります。

まちがえた問題は寝る前にもう一度目を通すことが重要。たとえ解かなくても、解き方を思い返すことで、記憶が定着しやすくなります。まちがえた問題だけをコピーして貼りつけた「やり直しノート」をつくることも効果的です。

点が伸びないからといって、数学ばかり勉強すればいいわけではありません。受験は総合力の勝負。ほかの教科の勉強とバランスをとり、気持ちをリフレッシュして取り組んでみてください。

【朝日中高生新聞より】